

) 2006 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

05363269 \*\*Image available\*\*

SEAT FOR AUTOMOBILE

PUB. NO.: 08-318769 [JP 8318769 A]

PUBLISHED: December 03, 1996 (19961203)

INVENTOR(s): TAKATSUJI KOICHI

MUTA TAKAYUKI

APPLICANT(s): NISSAN MOTOR CO LTD [000399] (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)

APPL. NO.: 07-128302 [JP 95128302]

FILED: May 26, 1995 (19950526)

#### ABSTRACT

PURPOSE: To provide a seat for an automobile, to be moved in such a direction that a lock wire is separated from a cushion striker by pulling a strap.

CONSTITUTION: The intermediate part between a base part 11a and a grip part 11b of a strap 11 is laid between a cushion striker 8 and a lock wire 5 so that the cushion striker 8 and an engaging part 5b of the lock wire 5 may be separated from each other after the engaging part 5b of the lock wire 5 is deformed by pulling the grip part 11b of the strap 11.

?

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-318769

(43)公開日 平成8年(1996)12月3日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

B 6 0 N 2/30

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 6 0 N 2/30

審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全6頁)

(21)出願番号 特願平7-128302

(22)出願日 平成7年(1995)5月26日

(71)出願人 000003997

日産自動車株式会社

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

(72)発明者 高辻 浩一

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産  
自動車株式会社内

(72)発明者 牟田 隼之

神奈川県座間市ひばりが丘5-791-1  
株式会社日産テクノ内

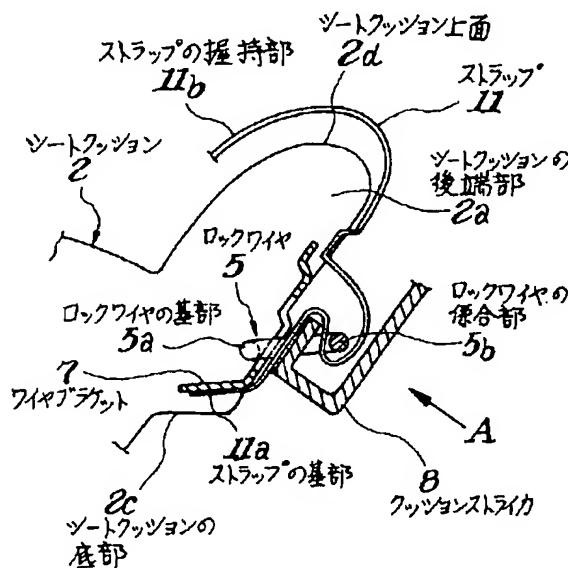
(74)代理人 弁理士 石戸 元

(54)【発明の名称】自動車用シート

(57)【要約】

【目的】ストラップを引くことにより、ロックワイヤをクッションストライカから離す方向に移動させる自動車用シートを提供すること。

【構成】ストラップ11の基部11aと握持部11bとの中間部11cは、前記ストラップ11の握持部11bが引かれるとロックワイヤ5の係合部5bが変形してクッションストライカ8とロックワイヤ5の係合部5bとが離間するように前記クッションストライカ8と前記ロックワイヤ5との間に這い回されてなること。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 フロアパネル上に常時は載置され且つ後端部が跳ね上げ方向に移動自在なるよう前記フロアパネルに対して前端部が回転自在に軸支されてなるシートクッションと、該シートクッションの底部に基部が支持され且つ前記シートクッションの後端部から前記シートクッションの上面に握持部が延設されることで前記シートクッションへ回転力を付与し得るストラップと、前記シートクッションの底部に基部が支持され前記フロアパネル上に支持されたクッションストライカに係合可能な係合部を前記シートクッションの底部より突出してなるロックワイヤとを少なくとも有する自動車用シートにおいて、

前記ストラップの基部と握持部との中间部は、前記ストラップの握持部が引かれるとき前記ロックワイヤの係合部が変形して前記クッションストライカと前記ロックワイヤの係合部とが離間するよう前記クッションストライカと前記ロックワイヤとの間に違い回されてなることを特徴とする自動車用シート。

【請求項2】 フロアパネル上に常時は載置され且つ後端部が跳ね上げ方向に移動自在なるよう前記フロアパネルに対して前端部が回転自在に軸支されてなるシートクッションと、前記シートクッションの底部に基部が支持され前記フロアパネル上に支持されたクッションストライカに係合可能な係合部を前記シートクッションの底部より突出してなるバネ鋼よりなるロックワイヤと、該ロックワイヤの係合部に基部が支持され且つ前記シートクッションの後端部から前記シートクッションの上面に握持部が延設されることで前記シートクッションへ回転力を付与し得るストラップとより構成され、前記ストラップの握持部が引かれるとき前記ロックワイヤの係合部が変形して前記クッションストライカと前記ロックワイヤの係合部とが離間するよう構成してなることを特徴とする自動車用シート。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、自動車用シートに関する。

## 【0002】

【従来の技術】 自動車用シートとしては、例えば図6乃至図8(実公平2-28103号公報参照)に示す例がある。即ち、自動車用シート1は、シートクッション2と、シートパック3と、ストラップ4と、ロックワイヤ5とを少なくとも有する。前記シートクッション2は、フロアパネル6上に常時は載置され且つ後端部2aが跳ね上げ方向に移動自在なるよう前記フロアパネル6に対してヒンジ(図示省略)で前端部2bが回転自在に軸支されてなる。前記ストラップ4は、該シートクッション2の底部2cに支持されたワイヤブラケット7に基部4aが支持されている。そして、前記シートクッション2

10

20

30

40

50

の後端部2aから前記シートクッション2の上面2dに前記ストラップ4の握持部4bが延設されることで、前記シートクッション2へ回転力を付与し得る。前記ロックワイヤ5は、前記シートクッション2の底部2cに基部5aが支持されている。そして、常時は図7に示すように前記フロアパネル6上に支持されたクッションストライカ8に干渉しない位置に配され、車両の衝突或いは急ブレーキなど前方への急激な荷重が前記シートクッション2に加わった時ののみ該クッションストライカ8に係合可能なるようクッションストライカ8の端部より低い位置に配されてなる係合部5bを前記シートクッション2の底部2cより突出してなる。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 然しながら、前記従来の自動車用シートでは、かかるシートクッション2を跳ね上げる際に、ストラップ4を、図7で示す様に、白抜き矢印方向に引くと、引く方向が前記シートクッション2の上面2d方向なので、該ストラップ4の基部4aを支持したワイヤブラケット7が変形するおそれがあり、かかる変形により前記ロックワイヤ5の係合部5bがクッションストライカ8に引っかかってしまうおそれがある。そこで、本発明は、以上のような点に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、ストラップを引くことにより、ロックワイヤをクッションストライカから離す方向に移動させる自動車用シートを提供することにある。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明の請求項1の自動車用シートとしては、フロアパネル上に常時は載置され且つ後端部が跳ね上げ方向に移動自在なるよう前記フロアパネルに対して前端部が回転自在に軸支されてなるシートクッションと、該シートクッションの底部に基部が支持され且つ前記シートクッションの後端部から前記シートクッションの上面に握持部が延設されることで前記シートクッションへ回転力を付与し得るストラップと、前記シートクッションの底部に基部が支持され前記フロアパネル上に支持されたクッションストライカに係合可能な係合部を前記シートクッションの底部より突出してなるロックワイヤとを少なくとも有する自動車用シートにおいて、前記ストラップの基部と握持部との中间部は、前記ストラップの握持部が引かれるとき前記ロックワイヤの係合部が変形して前記クッションストライカと前記ロックワイヤの係合部とが離間するよう前記クッションストライカと前記ロックワイヤとの間に違い回されてなることを特徴とする。

【0005】 本発明の請求項2の自動車用シートとしては、フロアパネル上に常時は載置され且つ後端部が跳ね上げ方向に移動自在なるよう前記フロアパネルに対して前端部が回転自在に軸支されてなるシートクッションと、前記シートクッションの底部に基部が支持され前記

フロアパネル上に支持されたクッションストライカに係合可能な係合部を前記シートクッションの底部より突出してなるバネ鋼よりなるロックワイヤと、該ロックワイヤの係合部に基部が支持され且つ前記シートクッションの後端部から前記シートクッションの上面に握持部が延設されることで前記シートクッションへ回転力を付与し得るストラップとより構成され、前記ストラップの握持部が引かれると前記ロックワイヤの係合部が変形して前記クッションストライカと前記ロックワイヤの係合部とが離間するように構成してなることを特徴とする。

【0006】

【作用】本発明の請求項1の自動車用シートによれば、フロアパネル上にシートクッションが載置されているときには、前方への急激な荷重が前記シートクッションに加わった時のみロックワイヤの係合部が該クッションストライカに係合することで、該シートクッションの後端部の不用意な跳ね上がりが防止されている。そして、該シートクッションの後端部を跳ね上げ方向に移動させるとときには、ストラップの握持部を引くと、前記クッションストライカと前記ロックワイヤとの間に這い回されたストラップの中間部に張力が働くので、前記ロックワイヤの係合部が変形し、前記クッションストライカと前記ロックワイヤの係合部とが離間されることで、ロックワイヤがクッションストライカに係合しないようになる。

【0007】本発明の請求項2の自動車用シートによれば、フロアパネル上にシートクッションが載置されているときには、前方への急激な荷重が前記シートクッションに加わった時のみロックワイヤの係合部が該クッションストライカに係合することで、該シートクッションの後端部の不用意な跳ね上がりが防止されている。そして、該シートクッションの後端部を跳ね上げ方向に移動させるとときには、ストラップの握持部を引くと、前記ロックワイヤの係合部にストラップの基部が支持されているので、前記ロックワイヤの係合部が変形し、前記クッションストライカと前記ロックワイヤの係合部とが離間されることで、ロックワイヤがクッションストライカに係合しないようになる。前記ロックワイヤの係合部は、変形しても、該ロックワイヤ自体がバネ鋼よりなるから、復元力に優れているので、高耐久性を有することになる。

【0008】

【実施例】以下、この発明の実施例を図面と共に説明する。図1乃至図4を用いて、本発明の一実施例に係る自動車用シートを説明する。尚、図6乃至図8に示すものと同一の部材は同一符号を用いて説明する。図中、自動車用シート1は、シートクッション2と、シートパック3と、ロックワイヤ5と、ストラップ11とを少なくとも有する。前記シートクッション2は、フロアパネル6上に図1に示す様に常時は載置され且つ後端部2aが跳

ね上げ方向に移動自在なるよう前記フロアパネル6に対してヒンジ12で前端部2bが回転自在に軸支されてなる。

【0009】前記ロックワイヤ5は、前記シートクッション2の底部2cに支持されたワイヤブラケット7に基づ部5a, 5aが支持されている。そして、常時は図2に示すように前記フロアパネル6上に支持されたクッションストライカ8に干渉しない位置に配され、車両の衝突或いは急ブレーキなど前方への急激な荷重が前記シートクッション2に加わった時のみ該クッションストライカ8に係合可能なるようクッションストライカ8の端部より低い位置に配される係合部5bを前記シートクッション2の底部2cのワイヤブラケット7に形成された開口部7aより突出してなる。該基部5a, 5aと係合部5bとで、略弓なり状をなしている。前記ストラップ11は、該シートクッション2の底部2cに支持されたワイヤブラケット7に基部11aが支持されている。そして、前記シートクッション2の後端部2aから前記シートクッション2の上面2dに前記ストラップ11の握持部11bが延設されることで、前記シートクッション2へ回転力を付与し得る。前記ストラップ11の基部11aと握持部11bとの中間部11cは、図4に示す様に、前記ストラップ11の握持部11bが引かれると前記ロックワイヤ5の係合部5bが図4に矢印で示すように変形して前記クッションストライカ8と前記ロックワイヤ5の係合部5bとが離間するよう、前記フロアパネル6上に支持された前記クッションストライカ8と前記ロックワイヤ5の係合部5bとの間に這い回されてなる。

【0010】従って、この実施例によれば、フロアパネル6上にシートクッション2が載置されているときには、車両の衝突或いは急ブレーキなど前方への急激な荷重が前記シートクッション2に加わった時のみロックワイヤ5の係合部5bが該クッションストライカ8に係合することで、該シートクッション2の後端部2aの不用意な跳ね上がりが防止されている。そして、該シートクッション2の後端部2aを跳ね上げ方向に移動させるとときには、ストラップ11の握持部11bを引くと、前記クッションストライカ8と前記ロックワイヤ5の係合部5bとの間に這い回されたストラップ11の中間部11cに張力が働くので、前記ロックワイヤ5の係合部5bが変形し、前記クッションストライカ8と前記ロックワイヤ5の係合部5bとが離間されることで、ロックワイヤ5の係合部5bがクッションストライカ8に係合しないようになる。

【0011】図5は、本発明の他の実施例で、前記実施例との相違は、ロックワイヤとストラップの支持手段のみである。即ち、ロックワイヤ13は、前記シートクッション2の底部2cに支持されたワイヤブラケット17の上辺17bに基部13a, 13aが支持されている。

そして、常時は前記フロアパネル6上に支持されたクッションストライカ8に干渉しない位置に配され、車両の衝突或いは急ブレーキなど前方への急激な荷重が前記シートクッション2に加わった時のみ該クッションストライカ8に係合可能なるようクッションストライカ8の端部より低い位置に配される係合部13bを前記シートクッション2の底部2cより突出することで、略U字状をなしている。符号17aは、ワイヤブラケット17に形成した開口部で、その側辺17c、17cで、前記基部13a、13a及び係合部13bを側方から保護している。ストラップ15は、該ロックワイヤ13の係合部13bに基部15aが支持されている。そして、前記シートクッション2の後端部2aから前記シートクッション2の上面2dに前記ストラップ15の握持部15bが延設されることで、前記シートクッション2へ回転力を付与し得る。

【0012】従って、この実施例によれば、フロアパネル6上にシートクッション2が載置されているときには、車両の衝突或いは急ブレーキなど前方への急激な荷重が前記シートクッション2に加わった時のみロックワイヤ13の係合部13bが該クッションストライカ8に係合することで、該シートクッション2の後端部2aの不用意な跳ね上がりが防止されている。そして、該シートクッション2の後端部2aを跳ね上げ方向に移動させるとときには、ストラップ15の握持部15bを白抜き矢印方向に引くと、前記ロックワイヤ13の係合部13bにストラップ15の基部15aが支持されているので、該基部15aが前記ロックワイヤ13の係合部13bを変形させて、前記クッションストライカ8と前記ロックワイヤ13の係合部13bとが離間させられることで、ロックワイヤ13がクッションストライカ8に係合しないようになる。前記ロックワイヤ13の係合部13bは、変形しても、該ロックワイヤ13自体がバネ鋼よりなるから、復元力に優れているので、高耐久性を有することになる。

### 【0013】

【発明の効果】以上のように、本発明の請求項1の自動車用シートによれば、フロアパネル上に常時は載置され且つ後端部が跳ね上げ方向に移動自在なるよう前記フロアパネルに対して前端部が回転自在に軸支されてなるシートクッションと、該シートクッションの底部に基部が支持され且つ前記シートクッションの後端部から前記シートクッションの上面に握持部が延設されることで前記シートクッションへ回転力を付与し得るストラップと、前記シートクッションの底部に基部が支持され前記フロアパネル上に支持されたクッションストライカに係合可能な係合部を前記シートクッションの底部より突出してなるロックワイヤとを少なくとも有する自動車用シートにおいて、前記ストラップの基部と握持部との中間部は、前記ストラップの握持部が引かれると前記ロックワ

イヤの係合部が変形して前記クッションストライカと前記ロックワイヤの係合部とが離間するよう前記クッションストライカと前記ロックワイヤとの間に這い回されてなることを特徴とするので、前記フロアパネル上にシートクッションが載置されているときには、前方への急激な荷重が前記シートクッションに加わった時のみロックワイヤの係合部が該クッションストライカに係合することで、該シートクッションの後端部の不用意な跳ね上がりが防止されている。そして、該シートクッションの後端部を跳ね上げ方向に移動させるときには、ストラップの握持部を引くと、前記クッションストライカと前記ロックワイヤとの間に這い回されたストラップの中間部に張力が働くので、前記ロックワイヤの係合部が変形し、前記クッションストライカと前記ロックワイヤの係合部とが離間されることで、ロックワイヤがクッションストライカに係合しないようになる、という実益的効果を有する。

【0014】本発明の請求項2の自動車用シートによれば、フロアパネル上に常時は載置され且つ後端部が跳ね上げ方向に移動自在なるよう前記フロアパネルに対して前端部が回転自在に軸支されてなるシートクッションと、前記シートクッションの底部に基部が支持され前記フロアパネル上に支持されたクッションストライカに係合可能な係合部を前記シートクッションの底部より突出してなるバネ鋼よりなるロックワイヤと、該ロックワイヤの係合部に基部が支持され且つ前記シートクッションの後端部から前記シートクッションの上面に握持部が延設されることで前記シートクッションへ回転力を付与し得るストラップとより構成され、前記ストラップの握持部が引かれると前記ロックワイヤの係合部が変形して前記クッションストライカと前記ロックワイヤの係合部とが離間するよう構成してなることを特徴とするので、前記フロアパネル上にシートクッションが載置されているときには、前方への急激な荷重が前記シートクッションに加わった時のみロックワイヤの係合部が該クッションストライカに係合することで、該シートクッションの後端部の不用意な跳ね上がりが防止されている。そして、該シートクッションの後端部を跳ね上げ方向に移動させるとときには、ストラップの握持部を引くと、前記ロックワイヤの係合部にストラップの基部が支持されているので、前記ロックワイヤの係合部が変形し、前記クッションストライカと前記ロックワイヤの係合部とが離間されることで、ロックワイヤがクッションストライカに係合しないようになる。前記ロックワイヤの係合部は、変形しても、該ロックワイヤ自体がバネ鋼よりなるから、復元力に優れているので、高耐久性を有することになる、という実益的効果を有する。

### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例にかかる自動車用シートの側面説明図である。

【図2】図1の要部拡大断面図である。

【図3】図2の矢視Aにかかる斜視説明図である。

【図4】図2のストラップを引くことによる作用説明図である。

【図5】本発明の他の実施例にかかる図3相当斜視説明図である。

【図6】従来例の自動車用シートの斜視説明図である。

【図7】図6の要部拡大断面図である。

【図8】図7の矢視Bにかかる斜視説明図である。

【符号の説明】

- 1 自動車用シート
- 2 シートクッション
- 2a シートクッションの前端部
- 2b シートクッションの後端部
- 2c シートクッションの底部
- 2d シートクッションの上面
- 3 シートパック
- 4 ストラップ
- 11 ストラップ

15 ストラップ

4a ストラップの基部

11a ストラップの基部

15a ストラップの基部

4b ストラップの握持部

11b ストラップの握持部

15b ストラップの握持部

5 ロックワイヤ

13 ロックワイヤ

10 5a ロックワイヤの基部

13a ロックワイヤの基部

5b ロックワイヤの係合部

13b ロックワイヤの係合部

6 フロアパネル

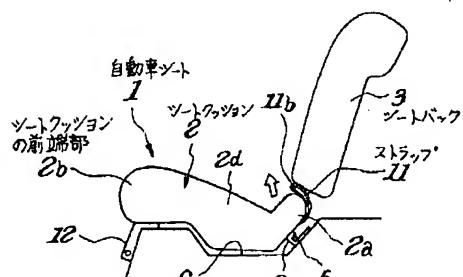
7 ワイヤーブラケット

17 ワイヤーブラケット

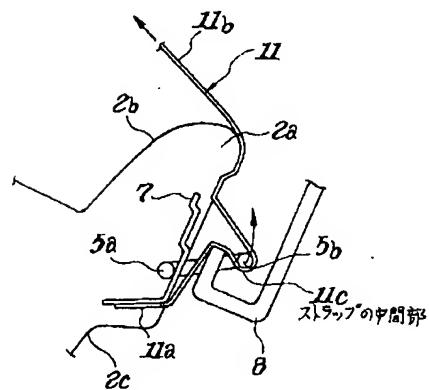
8 クッションストライカ

11c ストラップの中間部

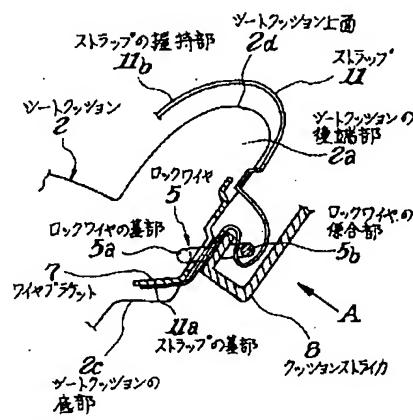
【図1】



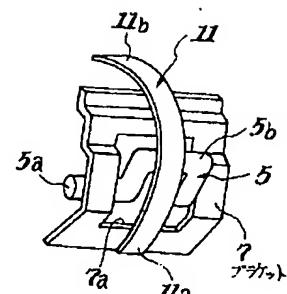
【図4】



【図2】

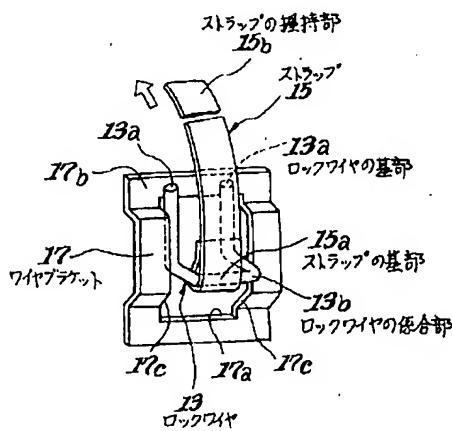


【図3】

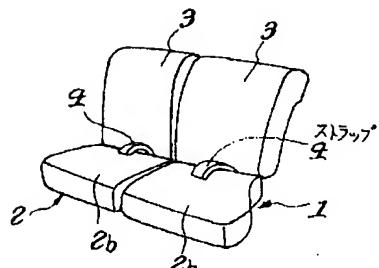


【図8】

【図5】



【図6】



【図7】

